

R 8年 8月 5日

派遣成果報告書

有田市議会議長 様

議員氏名 福永 広次

有田市議会の議員派遣に関する要綱第5条の規定により、下記のとおり報告します。

記

研修名	政策議会の実現に向けた議会・議員の取り組み
研修期間	令和 8年 7月 22日（水）
研修場所	1 全国市町村国際文化研修所（大津） 2 市町村職員中央研修所（千葉） 3 地方議員研究会（ ） ④ その他（ ㈱廣瀬行政研究所 ）
研修の成果	別紙のとおり

※ 「研修の成果」は研修内容や所感などを具体的に別葉に作成して添付してください。
※ 研修先から交付される「終了証」等を添付してください。

研修項目

1 部 政策議会をつくる二代表制とヒロバとしての議会

1. 定数削減となり手不足問題が示すもの
2. 議会・議員像の再設定
3. 議会による広報公聴の戦略
4. 市民と議会のもやい直し
5. まとめ

2 部 政策議会の一般質問

1. 「政策議会」の基礎理論
2. 一般質問の機能と制度
3. 一般質問を機能させるために
4. 政策議会の「資源」と「成果」
5. まとめ

所感

本講演は、「政策議会の実現」というテーマのもと、これからの地方議会が目指すべき姿について大変、実践的で多くの学びがあるものでした。

第1部では、議員定数の減少や「なり手不足」といった現状を踏まえ、これからの議会や議員のあるべき姿をどう変革していくかが示されました。単に行政の提案をチェックしたり陳情を受けたりするだけでなく、広報・広聴活動を強化して市民と課題を共有すること、そして市民と議会が一緒になって地域の課題に向き合い、議論を深めていくプロセスの大切さを再認識しました。

第2部では、議員活動における一般質問の重要性を再認識しました。

一般質問は議員の知見や活動の集約であり、政策提案機能や監査機能を果たす場です。その質が議会力向上に直結し、市民の利益に繋がることを改めて感じました。

特に、質問力を磨き、情報収集・分析・説明といった能力を高める必要性を痛感しました。また、議員間連携やテーマ共有による議論の内容をより深く掘り下げることが求められています。

有田市議会でも、この学びを活かし、市政課題解決や政策形成に積極的に取り組みたいと思います。

今回の講演を通じて、政策議会の実現とは単に仕組みを変えることなく、「議会と市民の関係を作り直し、話し合いの質を高めていく改革そのもの」だと実感いたしました。ここで得た学びを今後の議会活動や政策提言にしっかりと活かし、地域の課題解決に向けた議論に繋げてまいります。